



2024年11月12日

各位

会社名 株式会社奥村組  
代表者名 代表取締役社長 奥村 太加典  
(コード番号1833 東証プライム)  
問合せ先 管理本部経理部長 奥田 俊輔  
(TEL. 06 - 6621 - 1101)

## 2025年3月期第2四半期(中間期)の決算発表の延期及び 業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年11月12日に予定していた2025年3月期第2四半期(中間期)の決算発表を延期することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、決算発表の延期の理由である不適切な原価管理についての社内調査が継続中ですが、現時点では、この調査の結果が業績に与える影響は大きなものとは想定しておらず、その他の要因による業績動向等を踏まえ、2024年5月13日の決算発表時に公表しました2025年3月期第2四半期(中間期)及び2025年3月期の業績予想並びに期末の配当予想を修正しましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 決算発表の延期について

当社は、2024年10月24日付の「社内調査委員会の設置に関するお知らせ」で公表しましたとおり、当社が受注している工事に関して不適切な原価管理が行われていたことが判明したため、外部有識者を中心メンバーとする社内調査委員会を設置し調査を進めております。

同委員会の調査には相応の日数を要すること、同委員会の調査報告を踏まえて会計監査人による追加的な監査手続等が必要になることも見込まれることから、現時点で決算数値が確定できないため、11月12日に予定していた2025年3月期第2四半期(中間期)決算発表を延期することとしました。

延期後の決算発表日については、決定次第、速やかにお知らせいたします。

また、第88期(2025年3月期)半期報告書の提出期限までに、会計監査人から期中レビュー報告書を受領できない見込みとなったため、関東財務局へ同報告書の提出期限延長に関する承認申請書を提出することを検討していますので、詳細が決定次第、速やかにお知らせいたします。

株主、投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしますことを、心より深くお詫び申し上げます。

## 2. 業績予想の修正について

2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	155,200	6,000	6,500	5,600	151.98
今回修正予想(B)	139,330	1,490	1,600	2,020	54.84
増減額(B-A)	△ 15,870	△ 4,510	△ 4,900	△ 3,580	
増減率(%)	△ 10.2	△ 75.2	△ 75.4	△ 63.9	
(ご参考)前中間期実績 (2024年3月期中間期)	135,660	6,455	7,180	5,707	155.04

2025年3月期第2四半期(中間期)個別業績予想数値の修正(2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	149,000	6,300	7,200	6,000	162.84
今回修正予想(B)	135,380	2,650	3,230	2,870	77.92
増減額(B-A)	△ 13,620	△ 3,650	△ 3,970	△ 3,130	
増減率(%)	△ 9.1	△ 57.9	△ 55.1	△ 52.2	
(ご参考)前中間期実績 (2024年3月期中間期)	129,221	5,986	7,220	5,792	157.35

### 修正の理由

#### (個別業績予想)

土木事業は、特定の国内大型工事において、当初計画していた施工方法の変更を余儀なくされ、施工効率の悪化や天候不順等が複合的に影響し工程を見直したことに加え、建設資機材価格や労務費が高騰していること等により見積総原価が増大し、原価低減や追加工事の獲得が追い付かず、現時点では損益改善の見通しが立たないため多額の損失を計上することとなったことや、その他の工事の進捗が当初の想定に至らなかったこと等から、売上高及び売上総利益ともに前回発表予想を大幅に下回る見込みです。

建築事業は、売上高が新規受注工事の契約時期や着工時期が当初の想定から遅れたこと等により前回発表予想を下回ったものの、売上総利益は前期からの繰越工事における追加工事の獲得や原価低減による売上総利益率の改善により前回発表予想を上回る見込みです。

(上記の特定の国内大型土木工事における採算悪化の影響を除いた場合、土木事業、建築事業を合わせた建設事業全体の売上総利益は、前回発表予想と同水準の 14,760 百万円となる見込みです。)

土木事業、建築事業に投資開発事業等を加えた売上高が前回発表予想を 13,620 百万円下回り、上記の売上総利益の減少と一般管理費(人件費や ICT 関連費用等)の増加により営業利益が 3,650 百万円、営業外費用として為替差損を計上し経常利益が 3,970 百万円、中間純利益が 3,130 百万円、それぞれ前回発表予想を下回る見込みです。

なお、上記1のとおり、本日時点で 2025 年 3 月期第 2 四半期(中間期)決算について、監査法人の期中レビュー手続きは完了しておりませんが、現時点では、社内調査委員会の調査結果が業績に与える影響は大きなものではないと判断しています。

### <参考>

#### 土木事業、建築事業別の売上高及び売上総利益

	土木事業			建築事業			建設事業全体		
	売上高	売上 総利益	利益率	売上高	売上 総利益	利益率	売上高	売上 総利益	利益率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
前回発表予想(A)	51,000	7,100	13.9	95,000	7,700	8.1	146,000	14,800	10.1
今回修正予想(B)	45,040	2,660	5.9	87,500	8,700	9.9	132,540	11,360	8.6
増減額(B-A)	△ 5,960	△ 4,440	△ 8.0	△ 7,500	1,000	1.8	△ 13,460	△ 3,440	△ 1.5
上記の土木工事を除く 今回修正予想(B')	45,450	6,060	13.3	87,500	8,700	9.9	132,950	14,760	11.1
増減額(B'-A)	△ 5,550	△ 1,040	△ 0.6	△ 7,500	1,000	1.8	△ 13,050	△ 40	1.0

(連結業績予想)

本年7月19日に、当社の連結子会社である石狩バイオエナジー合同会社の発電施設において爆発事故が発生したため、現在、同社は商業運転を停止し、運転再開に向けて原因究明及び再発防止策の検討を行っており、商業運転の停止により売上高が減少し、原因究明のための調査費用や発電施設の維持管理費用等の発生により売上原価及び一般管理費が増加しました。

個別業績予想の修正要因にこれらの影響を加え、売上高が15,870百万円、営業利益が4,510百万円、経常利益が4,900百万円、親会社株主に帰属する中間純利益が3,580百万円、それぞれ前回発表予想を下回る見込みです。

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	306,900	13,500	14,200	12,600	341.96
今回修正予想(B)	296,000	7,400	7,500	8,550	232.05
増減額(B-A)	△10,900	△6,100	△6,700	△4,050	
増減率(%)	△3.6	△45.2	△47.2	△32.1	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	288,146	13,708	14,878	12,493	339.30

2025年3月期通期個別業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	292,500	13,300	14,800	12,900	350.11
今回修正予想(B)	288,200	10,600	11,600	10,650	289.04
増減額(B-A)	△4,300	△2,700	△3,200	△2,250	
増減率(%)	△1.5	△20.3	△21.6	△17.4	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	274,460	12,918	14,895	12,568	341.35

修正の理由

(個別業績予想)

2025年3月期第2四半期(中間期)の業績予想修正と同様の理由により、修正するものです。

(連結業績予想)

2025年3月期第2四半期(中間期)の業績予想修正と同様の理由により、修正するものです。

<参考>受注工事高の実績と予想(個別)

2025年3月期第2四半期(中間期)受注工事高(個別)の実績(2024年4月1日～2024年9月30日)

	土木事業	建築事業	建設事業全体
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	50,000	50,000	100,000
当期実績(B)	99,599	31,944	131,543
増減額(B-A)	49,599	△18,055	31,543
増減率(%)	99.2	△36.1	31.5
(ご参考)前期実績 (2023年9月期)	51,126	96,629	147,755

2025年3月期受注工事高予想数値(個別)の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	土木事業	建築事業	建設事業全体
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	120,000	160,000	280,000
今回修正予想(B)	145,000	160,000	305,000
増減額(B-A)	25,000	0	25,000
増減率(%)	20.8	0.0	8.9
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	105,850	231,032	336,883

### 3. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2024年5月13日)	—	113.00	—	130.00	243.00
今回修正予想	—	113.00	—	87.00	200.00
前期実績 (2024年3月期)	—	77.00	—	160.00	237.00

#### 修正の理由

利益配分については、経営上の最重要課題の一つと認識しており、安定的な配当を継続することを前提としたうえで、業績に応じた成果の配分を行うことを株主還元の基本方針とし、連結配当性向 70%以上(業績にかかわらず自己資本配当率(DOE)2.0%を下限とする)を現中期経営計画(2022～2024年度)期間中の株主還元方針としています。

石狩バイオエナジー合同会社の爆発事故による影響が連結業績を押し下げる要因となっていますが、個別業績は上記の特定の国内大型土木工事の採算悪化を除くと堅調に推移していることや、株主還元の基本方針等を勘案し、当期の年間配当金予想については、個別配当性向 70%相当額とします。

個別業績予想の修正に伴い、1株当たり期末配当金を前回予想の130円から43円減配した87円に修正し、1株当たり年間配当金を中間配当金予想 113円(前回予想を据え置き)と合わせた200円といたします。

(注)業績予想及び配当予想は、現時点における入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

以上